

久留米大学を受診した患者さんへ

「急性血液浄化療法の導入時間についての後ろ向き他施設共同研究」の研究に使用する試料について

この研究では、久留米大学を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の試料を使用します。

- 1) 期間：26年6月から26年8月
- 2) 受診科：高度救命救急センター
- 3) 対象疾患名：2013年の1年間に、久留米大学病院 高度救命救急センターで持続的腎代替療法（CRRT）や他の血液浄化療法を行った患者72名。
- 4) 使用する試料：無

あなたの試料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。

ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

- 1) 研究組織：所属：久留米大学病院 臨床工学センター
研究代表者：臨床工学技士 氏名 山香 修
研究分担者：教授 氏名 坂本 照夫
准教授 氏名 高須 修

2) 研究の意義と目的：臨床工学技士を必要とする急相血液浄化関連業務が夜間・休日などの程度発生するかを明らかにし、臨床工学技士の24時間勤務体制の必要性の論拠の1つとすること、及び将来的にその必要性を明確に示す質の高い介入研究の基礎的な情報とすることである。

3) 研究の方法：2013年の1年間に久留米大学病院 高度救命救急センターに入院した患者で、治療経過中に急性血液浄化療法を施行した72名の患者を対象に、患者情報（診断名、血液浄化導入時刻、初回のCRRTライフタイム、離脱時刻、CRRT施行のべ日数、のべ回路交換数等）を2014年6月から8月の3か月間でデータ収集を行う後ろ向き観察研究。

- 4) 研究期間：平成26年6月倫理委員会承認後～平成26年8月31日

5) 上記の試料の使用を選定した理由：

6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：調査より得られた情報を取り扱う際は、被験者の秘密保護に十分配慮する。個人情報は連結可能匿名化を行う。また、日付は月・時刻のみとし個人の特定できないように最大限配慮する。

7) 研究成果の発表の方法：第42回日本集中治療医学会学術集会（2015年2月予定）
日本集中治療医学会雑誌（2015年投稿予定）

8) その他：無

9) 事務局、問い合わせ、連絡先：

(代表者氏名) (臨床工学センター 臨床工学技士) 山香 修

(住所) 福岡県久留米市旭町 67 番地

(TEL) (FAX) 0942-31-7743

研究番号 14065